

## <対策のポイント>

ロボット、A I、I o T等の先端技術の活用実証や、複数企業が連携して業界の基盤となる機器・システムの開発・構築を行い、活用実証を図る取組の促進等を図ることにより、食品産業におけるイノベーションを創出し、食品製造業から外食・中食産業に至る食品産業全体の生産性向上を推進します。

## <政策目標>

食品製造業の労働生産性の伸び率の向上（年3.0% [令和3年度まで]）

## <事業の内容>

## <事業イメージ>

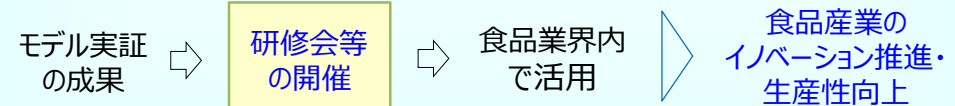
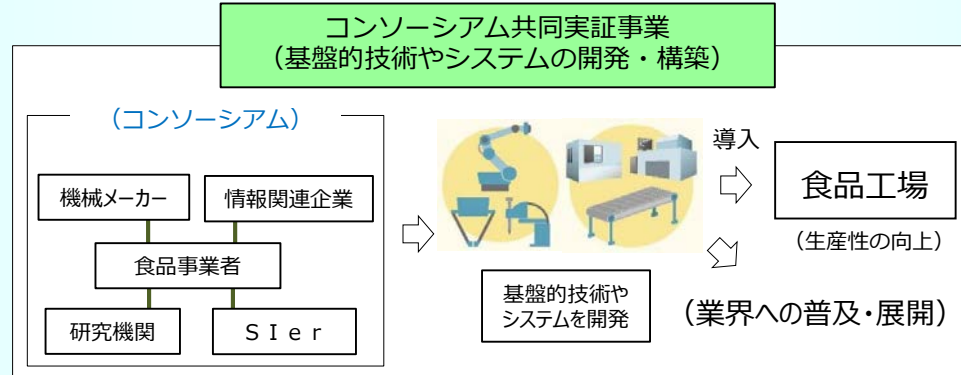
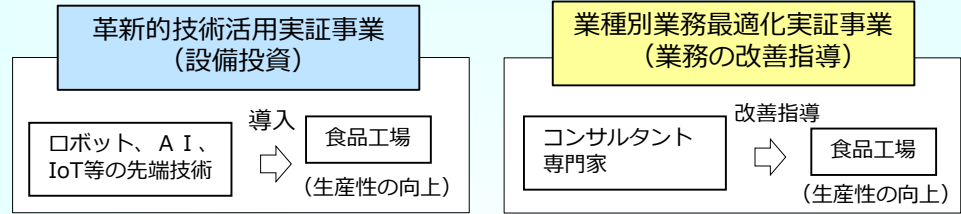
### 1. モデル実証の支援

- ① 革新的技術活用実証事業
  - 生産コスト低減、経営管理能力向上のためのロボット、A I、I o T等の活用等による生産効率向上など、革新的で新規性のある技術の活用実証を支援します。
- ② 業種別業務最適化実証事業
  - 専門家の工場診断や改善指導による生産性向上などを通して、業務の最適化や人材育成を図る取組を支援します。
- ③ コンソーシアム共同実証事業
  - 食品事業者、機械メーカー、情報関連企業、研究機関等を構成員とするコンソーシアムが、基盤的・標準的技術で業種横断的な機器・システムの開発・構築を行い、活用実証を図る取組を支援します。

### 2. 研修会等の開催

- 食品事業者の生産性向上に対する意識改革やSIerとの接点づくりの促進を目的とした研修会等の開催や業界内で横展開する取組を支援します。

モデル実証の支援 先端技術の導入、基盤的な技術の開発・構築等により生産性を向上



## <事業の流れ>

